

令和5年9月11日

各 位

# Media Seek

株式会社メディアシーク

代表取締役社長 西尾 直紀  
(コード番号:4824 東証グロース)  
問合せ先 取締役業務管理部長  
市橋 哲  
(TEL 03-5423-6600)

## 令和5年7月期通期連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、令和5年3月10日に公表いたしました令和5年7月期(令和4年8月1日～令和5年7月31日)の通期連結業績予想と実際の業績に差異が発生しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 令和5年7月期通期連結業績予想との差異 (令和4年8月1日～令和5年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	902	30	42	32	3.28
今回実績(B)	870	41	78	60	6.19
増減額(B-A)	△31	11	36	28	—
増減率(%)	△3.5	38.5	86.0	88.6	—
(ご参考) 前期通期実績 (令和4年7月期通期)	887	40	74	55	5.67

## 2. 差異が生じた理由

当連結会計年度において、売上高は概ね当初の予想通りに推移した一方で、外注費及び諸経費等の費用の発生額が予想に対して微小であったことに伴い、営業利益の計上額が連結業績予想を上回ることになりました。

特に、「ライフスタイルDX」ビジネスユニットで事業展開を進めるスクール管理システム「マイクラス」の引き合いが令和4年10月頃より好調に推移したことに伴い、当該ビジネスの売上高が好調に推移したことが大きく寄与しております。「マイクラス」は、パッケージソフトであるため、比較的、売上高総利益率が高水準のビジネスモデルとなっております。

なお、本お知らせの公表時点においても「マイクラス」の引き合いは好調に推移しており、引き続き業績にプラスに寄与する事と考えております。

これに加え、ベンチャーインキュベーションの一環である投資有価証券の運用において、当初予想を上回る受取利息、受取配当金及び投資有価証券売却益が計上されたことにより、当初予想額を上回る投資運用益を計上することとなりました。

以上の結果として、連結業績予想を上回る経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益及び1株当たり当期純利益を計上することとなりました。

以上